

森林は県民共通の財産 ～森林が有する多様な機能～

山梨の77.8%を覆う森林は、洪水や土砂災害から県土を保全して県民の生命や財産を守るとともに、二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防止するなど、多くの公益的機能があります。

豊かな水をたくわえ、供給する働き

地球温暖化を防止する働き

山くずれや洪水などを防止する働き

木材などを生産する働き

生活環境や生物多様性を守る働き

自然に親しみ、自然の大切さを学ぶ場としての働き

なぜ、森林環境税を導入するのか

本県の貴重な財産である森林を適正に整備・保全していくことは、安全かつ安心して暮らしていくうえで、極めて重要です。県内の民有林の多くは手入れが行き届かず荒廃が進んでおり、森林の持つ公益的機能の低下が懸念されています。森林からの恩恵を受けている社会全体で、未来に引き継ぐ健全な森づくりに取り組んでいくために、平成24年4月1日から森林環境税を導入しました。



健全な森林



手入れ不足の森林

暗い林内では土壌が流失

森林環境税により間伐などの整備を行う森林面積

約20,000ha^{*} (平成23年度末見込み)

^{*}1ha=100m×100m=10,000m²

森林環境税を活用した新たな取り組み

1 多様な公益的機能の維持・増進を図る森づくり

◎ 荒廃森林再生事業

荒廃した民有林において、針葉樹と広葉樹が入り混じった森林へ再生するための間伐などを支援します。

【目標】 荒廃民有林における間伐 4,000ha/5年



荒廃した人工林

間伐により林内に光を届け

針葉樹と広葉樹が入り混じった森林へ

◎ 里山再生事業

長期間放置され、低木や竹の繁茂によりヤブ化し荒廃した里山林の手入れを支援します。

【目標】 里山林の除伐などの保全作業 500ha/5年



長期間の放置により低木類や竹が繁茂

除伐などの保全作業を実施

健全な里山林へ誘導

◎ 広葉樹の森づくり推進事業

水源かん養や生物多様性などの公益的機能を高めるために、広葉樹の植栽を支援します。

【目標】 公益的機能を増進する広葉樹植栽 100ha/5年



2 木材の利用促進

甲斐の木づかい推進事業

木とふれあう温もりある教育環境で、児童・生徒の森林への関心が高まるように、小・中学校における県産木材を使用した机や椅子の導入を支援します。



3 社会全体で支える仕組み

森林体験活動支援事業

地域の森づくり活動支援事業

教育機関などが行う森林体験活動や、地域住民・ボランティア・NPOなどが自ら企画・実施する森づくりの活動を支援します。

